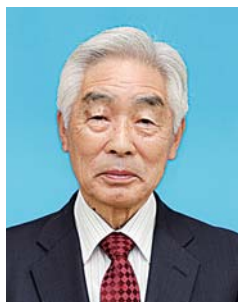


令和2年度 十和田市褒賞

公共の福利増進に功労があった方や、広く市民の模範となる方をたたえるものです。



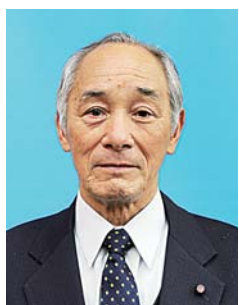
さわめ まさとし
沢目 正俊さん
(78歳・深持字下中平)

地方自治の振興発展に貢献

昭和58年に十和田市議会議員に当選して以来、連続9期35年余りの長きにわたり、地方自治の振興発展に大きく貢献した。その間、市議会議長として、議員定数の削減など議会改革を推進するとともに、円滑な議会運営に尽力した。

また、総務文教常任委員会委員長などの要職を歴任し、学校教育の充実や生活基盤の整備にも献身的に取り組むなど、住民福祉の向上や地域産業の振興にも寄与した。

【平成30年：全国市議会議長会特別表彰（市議35年）】
【平成30年：総務大臣感謝状】



たけしま かつあき
故竹島 勝昭さん
(享年76歳・西一番町)

地方自治の振興発展に貢献

昭和54年に十和田市議会議員に当選して以来、11期40年の長きにわたり、地域住民の福祉の向上や健康増進、環境保全に尽力した。その間、市議会議長、総務文教常任委員会委員長などの要職を歴任し、地方自治の振興発展に大きく貢献した。

また、青森県消費者協会理事長、十和田市名水保全対策協議会会長として、地域社会の発展に寄与するとともに、スポーツ少年団や子ども会活動にも積極的に携わり、子どもたちの健全育成にも尽力した。

【平成17年：藍綬褒章受章】
【令和2年：全国市議会議長会特別表彰（市議40年）】

令和2年度 十和田市民功労賞

十和田市民または市に縁故の深い個人などで特に社会的な功労が認められた方に贈られます。

(地域防災)



かくた ひろのぶ
角田 弘信さん
(69歳・切田字下切田)

昭和47年に十和田市消防団に入団以来、分団長・副団長・団長を歴任し、社会状況の変化に即応した消防力の強化、消防ポンプ車両の配備など、防火体制の強化ならびに水利の整備推進と拡充に努め、46年の長きにわたり本市の消防団の発展に大きく貢献した。

また、青森県手踊名人位や民謡王座に輝くなど、地域の郷土芸能の分野においても活躍した。

(青少年健全育成)



さとう やえさん
佐藤 やえさん
(63歳・三本木字稲吉)

平成19年から13年にわたり、三本木小学校学区青少年健全育成協議会会長として、世代間交流事業などを実施したほか、同地区安全・安心協働活動協議会会長として、あいさつ運動を通し、明るい地域社会の実現や児童・生徒が健やかな学校生活を送れるよう尽力した。

また、青少年育成十和田市民会議会長も務めるなど、本市の青少年健全育成に大きく貢献している。

(産業経済)



いわま えみお
岩間 恵美郎さん
(73歳・稲生町)

平成16年に十和田商工会議所副会頭に就任以来、16年にわたり、会議所をより身近に感じさせる広報づくりやPR活動、また「B-1グランプリin十和田」開催に尽力するなど、本市の経済発展に大きく貢献した。

さらには、(株)まちづくり十和田の代表取締役として空き店舗対策事業など、中心市街地活性化に取り組むほか、商工業発展のため人材育成にも率先して尽力した。

(保健衛生)



わだ さちこ
和田 幸子さん
(74歳・三本木字里ノ沢)

昭和59年から現在まで36年の長きにわたり、学校医を務め、感染症流行への対応や感染防止の措置指導を学校と連携し実施するなど、児童・生徒が健康で楽しい学校生活を過ごせるよう、本市の学校保健の充実と発展に大きく貢献した。

また、小児科医として十和田市病児・病後児保育事業にも取り組み、地域における保健医療の向上発展にも尽力した。

令和2年度 十和田市 文化に関する表彰

られます。

＊文化功労賞

『文化功労賞』は、永年にわたり文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著である方に贈



たきさわ ようたろう
滝沢 鷹太郎さん
(76歳・八戸市根城5丁目)

滝沢家に代々伝えられてきた古文書（中でも「中渡正八幡宮縁起」は南部氏発祥由来を解明するものとして重要な意義を持つ）、絵図、武具などの貴重な文化財の保護に尽力した。

また、これら資料を市に寄贈し、市が実施した翻刻集発行事業にも献身的に協力するなど、当地域の歴史解明に大きく貢献した。



さくらだ つとむ
櫻田 努さん
(88歳・東十二番町)

長年にわたり、みちのく吟詠会の会員として積極的に活動するなど、同会の発展に尽力した。

また、市の寿大学や老人クラブなど、さまざまな研修や交流の場を通して、詩吟の魅力や奥深さを広く伝えるなど、普及に努め、詩吟文化の向上に大きく貢献した。



ゆざわ きょうこ
湯澤 京子さん
(80歳・三本木字北平)

平成13年から十和田市茶道協会に所属し、自ら研鑽を積むとともに、行事などにも率先して参加し、後進の育成、同協会の発展に尽力した。

また、18年間にわたり、市内の福祉施設へ毎週ボランティアで指導に赴くなど、茶道文化の普及に大きく貢献した。



おがさわら としはる
小笠原 俊春さん
(78歳・西二十一番町)

長年にわたり、版画制作に取り組み、日本版画院展や現代美術家協会展などに出品し、数多くの入選、入賞を果たした。

また、十和田チャールズ会に所属し、組織の運営や会員育成のために活動するとともに、市民文化祭などのイベントに積極的に参加するなど、文化活動の活性化に大きく貢献した。



つるた ひでお
鶴田 秀夫さん
(71歳・米田字向町)

昭和62年から南部駒踊米田保存会の事務局長を務め、地域の児童へ伝統芸能である「南部駒踊」の演舞指導を行うなど、子どもたちの郷土愛を育む活動を継続的に行ってきた。

平成29年から同保存会の会長を務め、組織の維持、発展に尽力し、伝統芸能の継承に大きく貢献した。



なかのわたり かつひろ
中野渡 勝弘さん
(68歳・深持字鳥ヶ森)

昭和32年から途絶えていた深持神楽を復興するため、技芸伝授に奔走するとともに、会員の確保に努め、昭和52年に南部深持神楽保存会を再結成した。

平成8年から同保存会の会長を務め、地域の児童へ演舞指導を行うなど、組織の維持、発展に尽力し、伝統芸能の継承に大きく貢献した。

＊文化奨励賞

『文化奨励賞』は、優れた文化の創造や普及活動を続け、市民の文化向上に寄与した方に贈られます。



きむら なおみ
木村 奈生美さん
(52歳・東十三番町)

十和田ヒメマス川柳社に所属し、青森県民文化祭文芸コンクール（川柳部門）で県知事賞を受賞するなど、県内外の大会（誌上も含む）に積極的に出展し、上位入選を果たした。

令和元年度から、十和田ヒメマス川柳社の代表として、さらなる文化の発展に努めている。今後も多くの創作活動が期待できる。

受賞者の皆さま
おめでとうございます